長野工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	環境生態学	
科目基礎情報						
科目番号	0034	科目区分	専門 / 選択			
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	環境都市工学科	対象学年	4			
開設期	後期	週時間数	2			
教科書/教材	(教科書) 宇野宏司・渡部守義, 環境・都市システム系教科書シリーズ 環境生態工学, コロナ社					
担当教員	浅野 憲哉					
到達目標						
生態系の基本, ビオトープの基本を理解し, 生物多様性やミティゲーションについて説明できること. これらの内容を満足することで, 学習・教育目標 (D-1), (D-2) の達成とする。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安			
評価項目1						
評価項目2						
評価項目3						
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	生態学を基礎とし, 自然環境におけるビオトープの必要性と理念を学び, その上で自然と共生したまちづくり, 川づくり, さらにこれらに係るビオトープ型志向の土木工学や都市・農村づくりなどの計画・設計に応用できる基礎知識を得る。					
授業の進め方・方法	・授業方法は講義を中心とし, 演習問題や課題をだす。 ・適宜, レポート課題を課すので, 期限に遅れず提出すること。					
注意点	<成績評価> ・2回の到達度試験で評価する。ただし, 各定期試験の重みは同じとする。 合計100点満点でD-1およびD-2を評価し, 合計の6割以上を獲得した者をこの科目の合格者とする。 <オフィスアワー> ・放課後16:00~17:00, 浅野教員室。この時間にとらわれずに必要に応じて来室してください。また, 会議などで不在の場合があります。 <先修科目・後修科目> ・先修科目は, 生物, 地球環境学 <備考> ・動物・植物の分布, 生態学, ビオトープと結びついた建設工法などの知識が大切である。 ・なお, 本科目は学修単位科目であり, 授業時間30時間に加えて, 自学自習時間60時間が必要です。					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	生態系の基本的構造	生態系の基本的構造が説明できる。		
		2週	ビオトープの基本理念	ビオトープの基本理念について説明できる。		
		3週	ビオトープネットワーク I	ビオトープネットワークの意義が理解できる。		
		4週	ビオトープネットワーク II	地球上のビオトープネットワークについて説明できる。		
		5週	生物多様性と遺伝法則 I	生物多様性の意義と自然淘汰が説明できる。		
		6週	生物多様性と遺伝法則 II	遺伝法則が説明できる。		
		7週	日本の生態系破壊の現状 I	経済発展と生態系破壊の関係が説明できる。		
		8週	日本の生態系破壊の現状 II	日本における生態系破壊の問題点を説明できる。		
	4thQ	9週	持続可能な社会に向けて	持続可能な発展のあり方と自然環境との共生について説明できる。		
		10週	ミティゲーション I	ミティゲーションについて説明できる。		
		11週	ミティゲーション II	ミティゲーションの具体的方法について理解できる。		
		12週	いろいろなビオトープ I	日本における事例をとおして, ビオトープについて理解し, 説明できる。		
		13週	いろいろなビオトープ II	身近な事例をとおして, ビオトープについて理解し, 説明できる。		
		14週	河川の生態系と自浄作用	河川の生態系と自浄作用について説明できる。		
		15週	物質循環と富栄養化	富栄養化の水域生態系への影響を説明できる。		
		16週				
評価割合						
	試験	小テスト	平常点	レポート	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	100
配点	100	0	0	0	0	100